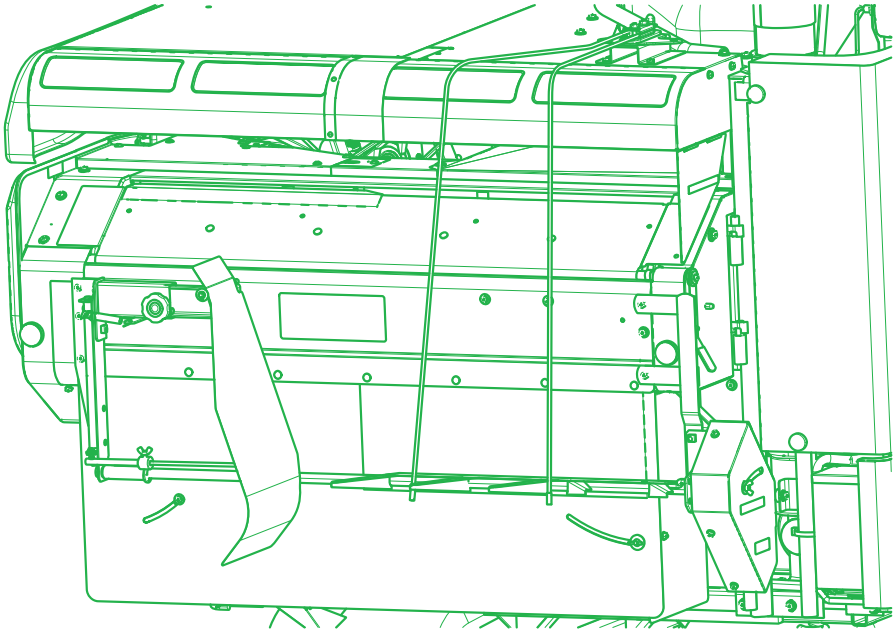
コンバインドロッパ

取扱説明書

S-M319D



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

このたびはコンバインドロッパをお買いあげいただき誠にありがとうございます。

●はじめに

この取扱説明書は機械の正しい取扱いかたと簡単なお手入れ，および守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

ご使用まえにこの取扱説明書とコンバインの取扱説明書を合わせてよくお読みいただき安全で快適な作業をしてください。

・お読みになった後も身近な所に保管しいつでも読めるようにしてください。
・また，この機械を貸与または譲渡される場合は，この取扱説明書を機械といっしょにお渡しください。

・本書では，安全上特に重要な項目を(⚠)で示し，次のように表示しています。必ず守ってください。

⚠危険	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	その警告に従わなかった場合は，ケガを負うおそれのあるものを示します。

・なお，この機械の品質・性能向上あるいは安全のために，使用部品を変更することがあります。その際には本書の内容およびイラストなどの一部が，機械と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ねがいます。

●本機の使用目的について

・機械はコンバインに取付けて稲，麦の排ワラ作業にご使用ください。
・この作業以外に使用しないでください。
・機械を使用目的以外の作業に使用したり，改造したりした場合は保証の対象にはなりません。(詳細は保証書をご覧ください。)

こんなとき，こんなことが知りたいとき，ここを見てください！

安全作業のために　安全な作業をするための注意事項は？

このドロッパはコンバインに装着して作業を行う機械ですのでコンバインの「**安全作業のために**」の項に機械の安全な取扱いに関する基本事項，また機械に貼付けてある安全に関する表示ラベル（危険ラベル・警告ラベル・注意ラベル）について説明しています。ご使用まえによく読んで理解し必ず守ってください。

ご使用まえに　使用前に知っておかなければならないことは？

機械の概要「**仕様（装備）**」などについて説明しています。

各部のはたらき　各部のはたらきを知るには？

機械の主な名称について説明し，各装置の取扱いを説明しています。
よく理解し正しい操作をしてください。

ドロッパ取付け要領　ドロッパはどのような方法で装着するの？

ドロッパの取付けの準備・取付け方について説明しています。

運転のしかた　ドロッパ付コンバインを運転するためには？

ドロッパ付きコンバインを正しく運転するために必要な点検や自動車への積載・ほ場への出入りのしかたについて説明しています。

作業のしかた　上手なドロッパ作業に入るには？

ドロッパ作業の基本操作を説明しています。ほ場条件や作物の条件にあった機械の調整をして安全な作業をしてください。

手入れのしかた　機械を長もちさせるには？

よく働いた機械をいたわるため，シーズンが終わったらコンバインとともに「**定期点検整備表**」に従って保守・点検し，来シーズンに備えてください。

不調時の処置　故障かなと思ったときは？

作業中のトラブルや不調，性能が低下している？と思ったら現象を正しく理解して処置してください。

付　　表　諸元・関連部品は？

機械に係る諸元表・消耗部品などを一覧表で説明し，また，取扱説明書にでてくる専門用語を解説しています。

もくじ

安全作業のために ……1

ご使用まえに ……1

1．保証とサービスについて…… 1
2．仕様について…… 2
3．用語について…… 2

各部のはたらき ……3

1．各部の名称とはたらき…… 3
2．ドロッパ取付け部品…… 4

ドロッパ取付け要領 ……7

1．ドロッパの取付けかた…… 7
2．ドロッパ装置の取外しかた……13

運転のしかた ……14

1．運転まえの点検……14
2．自動車への積込み・積降ろし……14
3．ほ場への出入り……14

作業のしかた ……15

1．作業まえの準備……15
　1．作物の条件……15
2．ドロッパ作業……15
　1．ガイドバーの調整……15
　2．集稈量の調整……16
　3．ガイド板の調整……16
　4．カッタ・排ワラ切替レバー, 排ワラレールの操作…17
　5．フォールバーの調節……18
　6．ガイド板の収納方法……18
　7．全体の形態……19

手入れのしかた ……20

1．定期点検整備……20
2．注油のしかた……20

不調時の処置 ……21

付　　表 ……22

1．主要諸元……22
2．用語解説……23

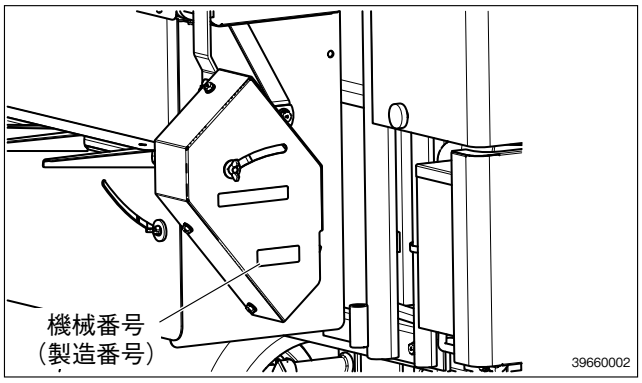
安全作業のために

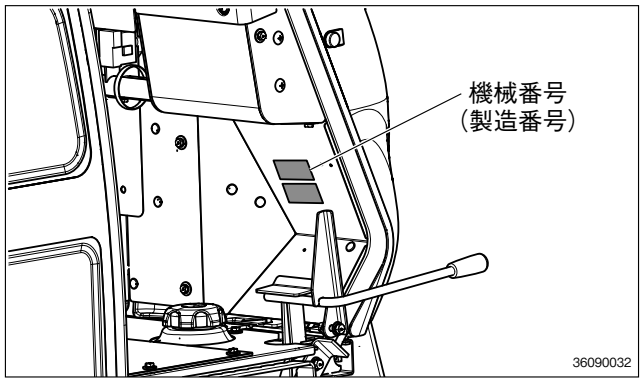
このドロッパはコンバインに装着して作業を行う機械ですので，コンバインの取扱説明書の「**安全作業のしかた**」の項をよく読んで安全作業に努めてください。

ご使用まえに

1．保証とサービスについて

・保証は，コンバインの保証書でおこないます。ご使用まえによくお読みください。
・この機械のサービスについてのお問い合わせや部品などのご用命のときは「**お買いあげ先**」にご相談ください。その際「**型式名**」・「**機械番号（製造番号）**」をお知らせください。
なお，機械が不調のときはコンバインの「**機械番号（製造番号）**」もあわせてお知らせください。





・補修用部品の供給年限について

・この製品の補修用部品の供給年限（期間）は，製造打ち切り後９年といたします。
ただし，供給年限内であっても，特殊部品につきましては，納期などについてご相談させていただく場合もあります。

・補修用部品の供給は，原則的には，上記の供給年限で終了いたしますが，供給年限経過後であっても，部品供給のご要請があった場合には，納期および価格についてご相談させていただきます。

・機械の使用目的について

・機械はコンバインに取付けて稲，麦の排ワラ作業にご使用ください。その他の目的では使用しないでください。
・機械を使用目的以外の作業に使用したり，改造したりした場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。詳細は保証書をご覧ください。

⚠警告
◆機械を改造しないでください。改造すると本来の機能を発揮できないばかりか，人身事故の原因となることがあります。
◆ドロッパを取付けたまま路上走行することは「道路交通法」に違反しますので路上走行時は，ドロッパを取外してください。

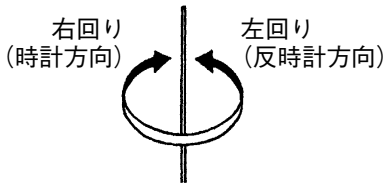
2. 仕様について

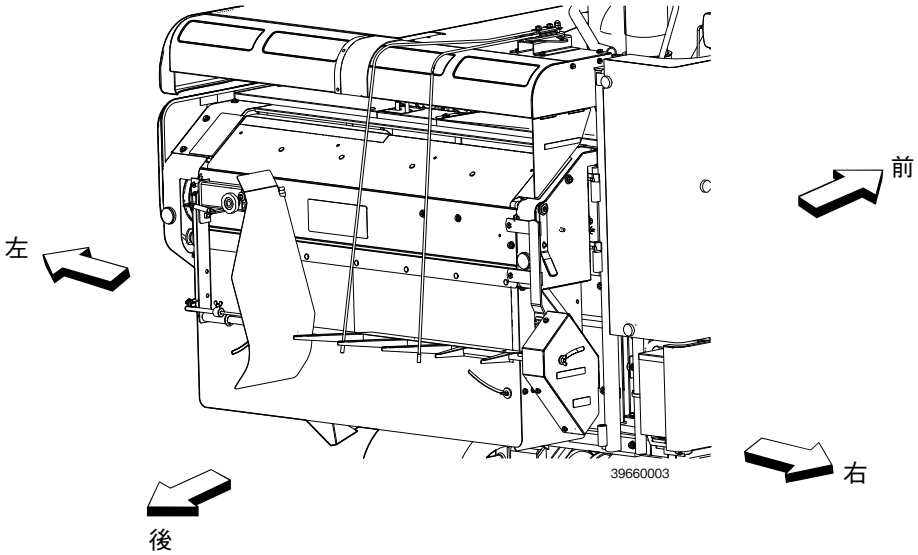
・品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行うことがあります。その際には，本書の内容および写真・イラストなどの一部が，本製品と一致しない場合がありますので，ご了承ください。

型　式　名	適用コンバイン	仕　　様
S－M319D	217型，319型	集稈量調整式

3. 用語について

❶ この取扱説明書に使用している**「前後・左右・右回り・左回り」**などの用語は図示のように決めています。





❷ **マークの説明**

この取扱説明書ではその都度守っていただきたい事柄を次のマークを使用して説明しています。

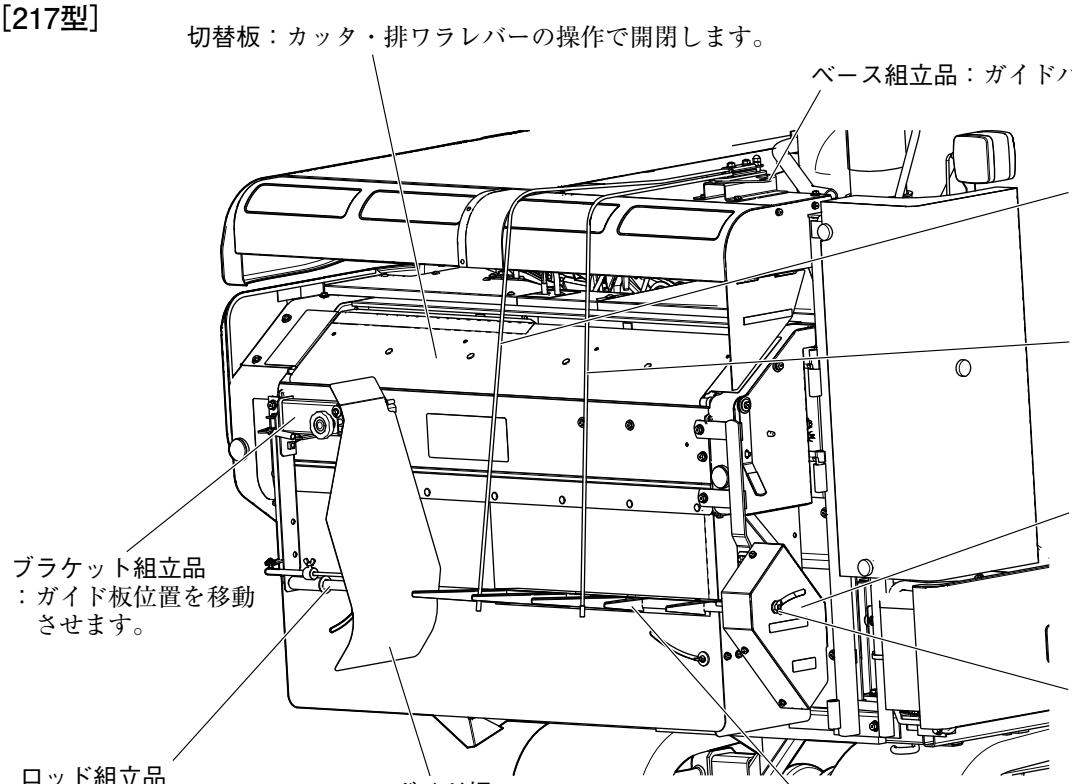
・危険 警告 注意 ……安全上重要な事項を３段階に分けて説明していますので必ず読んでください。

・**取扱いのポイント** ……機械の性能を最大限に発揮するための説明です。守らないと故障の原因になることもあります。

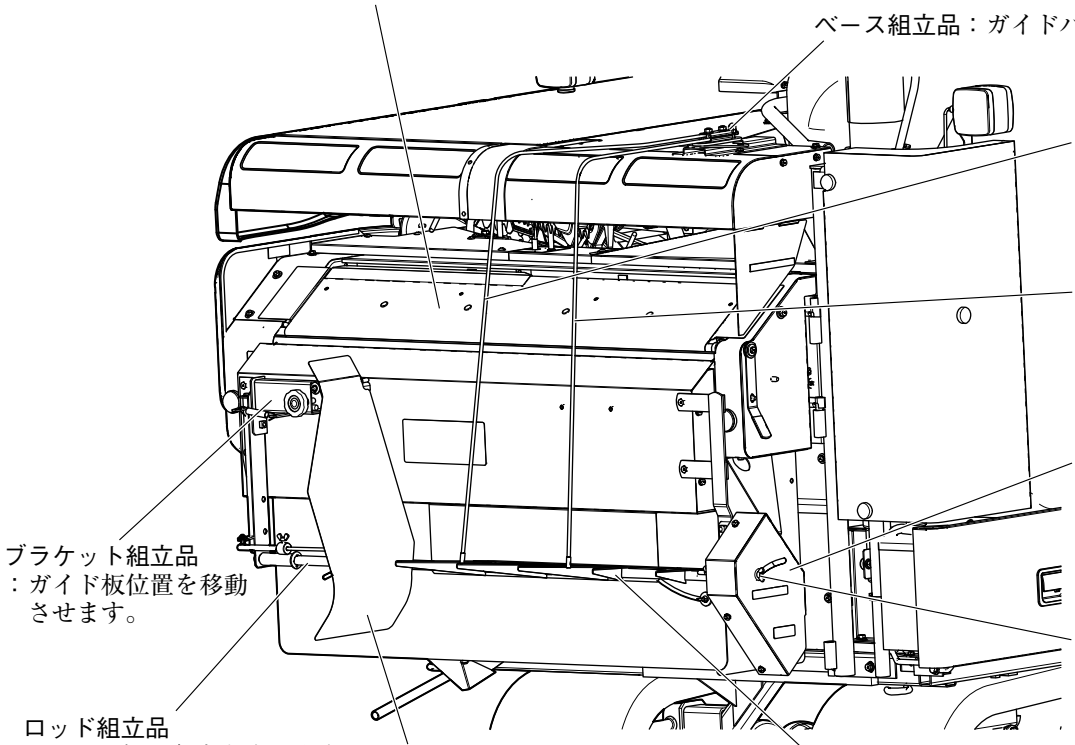
各部のはたらき

1．各部の名称とはたらき

[217型]



[319型]



39660004
39660005

2. ドロッパ取付け部品

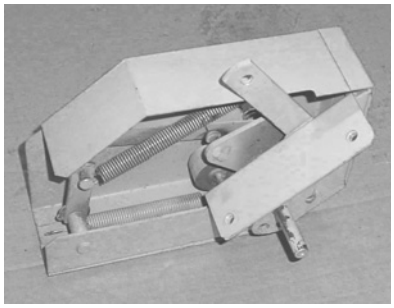
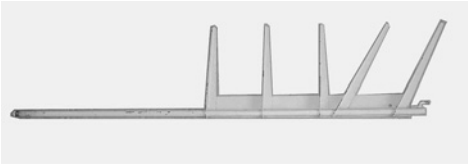
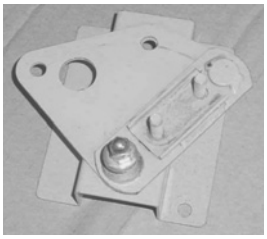
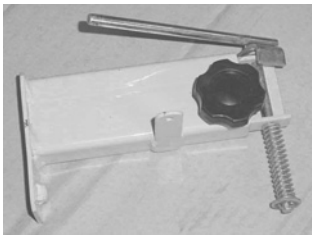
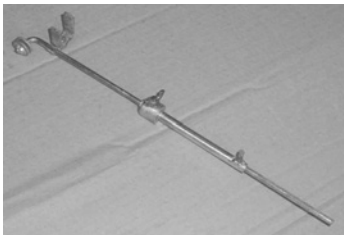
この梱包ユニットは運送中や保管中のダメージ（損傷）を避けるため，工場で細心の注意を払って梱包しています。下記の項目に注意しながら開梱してください。

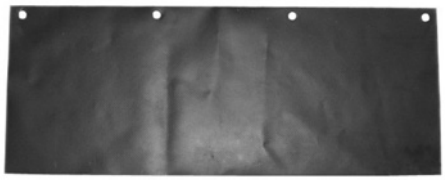
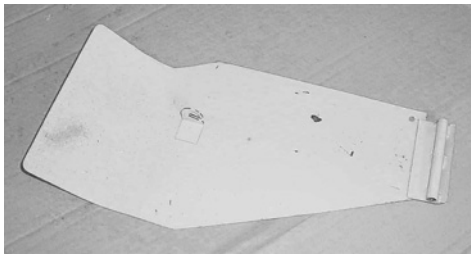
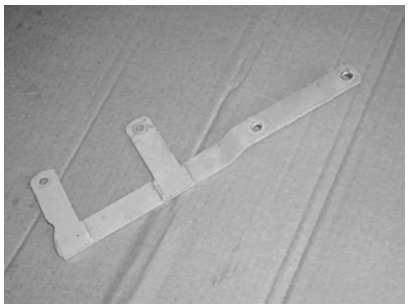
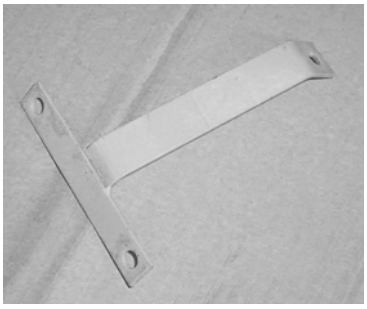
❶ 荷箱からそれぞれの部品を取出します。

❷ 下記の部品があることをチェックします。

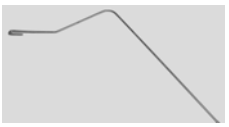
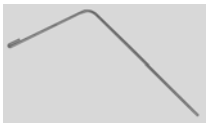
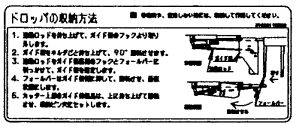
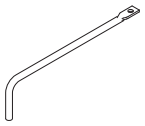
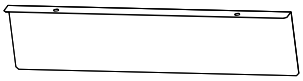
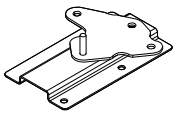
❸ ダメージ（損傷）の有無を調査します。

もし，部品の入れ忘れやダメージ（損傷）があれば直ちに販売店へ連絡してください。

No.	部品名称	個数	取付け部品と数量	外　観　形　状
①	ケース組立品	1	平座金付ボルト （M８×20）…３個 フランジ付ナット （M８）…１個	
②	フォールバー	1	スプリング （39660133…）…１個 ワッシャ （φ16×φ32×ｔ2.3）…２個 ワリピン （φ2.5×Ｌ32）…２個	
③	ベース組立品	1		
④	ブラケット組立品	1	平座金付ボルト （M８×16）…２個	
⑤	ロッド組立品	1	ワッシャ （M６×φ18×ｔ1.6）…１個 ワリピン （φ2.5×Ｌ12）…１個	

No.	部品名称	個数	取付け部品と数量	外　観　形　状
⑥	サポートＬ組立品	1	本機ボルト外して取付	
⑦	シ　　ー　　ト	1	本機ナット外して共締め	
⑧	ガ イ ド バ ン	1	ワッシャ （Ｍ８×22×ｔ2.3）…２個 ワリピン （φ2.5×Ｌ16）…１個	
⑨	サ ポ ー ト Ｒ	1	本機ボルト外して取付	
⑩	ス　テ　ー　Ｒ	1	本機ボルト外して取付	

各部のはたらき

No.	部品名称	個数	取付け部品と数量	外　観　形　状
⑪	ガイドバーA	1	トメガネ…1個 フランジ付ナット （M8）…2個	
⑫	ガイドバーB	1		
⑬	取扱マーク	1		
⑭	ハンドル	1		
⑮	プレート	1	大平座金付ボルト （M6×16）…2個	
⑯	ステー3R	1		
⑰	ベース	1		

[ビニール袋入小物部品]



種　　類		個数	使用箇所
スプリング（左・縮） 〃　（引張） トメガネ		1 1 1	②フォールバー ④ブラケット組立品 ⑪⑫ガイドバーA，B
ワッシャ ワリピン	φ16×φ32×t2.3 φ2.5×32	2 2	②フォールバー
ワッシャ ワリピン	φ8×φ22×t2.3 φ2.5×16	2 1	⑧ガイドバン
ワッシャ ワリピン	φ6×φ18×t1.6 φ2.5×12	1 1	⑤ロッド組立品
平座金付ボルト フランジ付ナット	M8×20 M8	3 1	①ケース組立品
平座金付ボルト	M8×16	2	④ブラケット組立品
フランジ付ナット	M8	2	⑪⑫ガイドバーA，B
大平座金付ボルト	M6×16	2	⑮プレート組立品

ドロッパ取付け要領

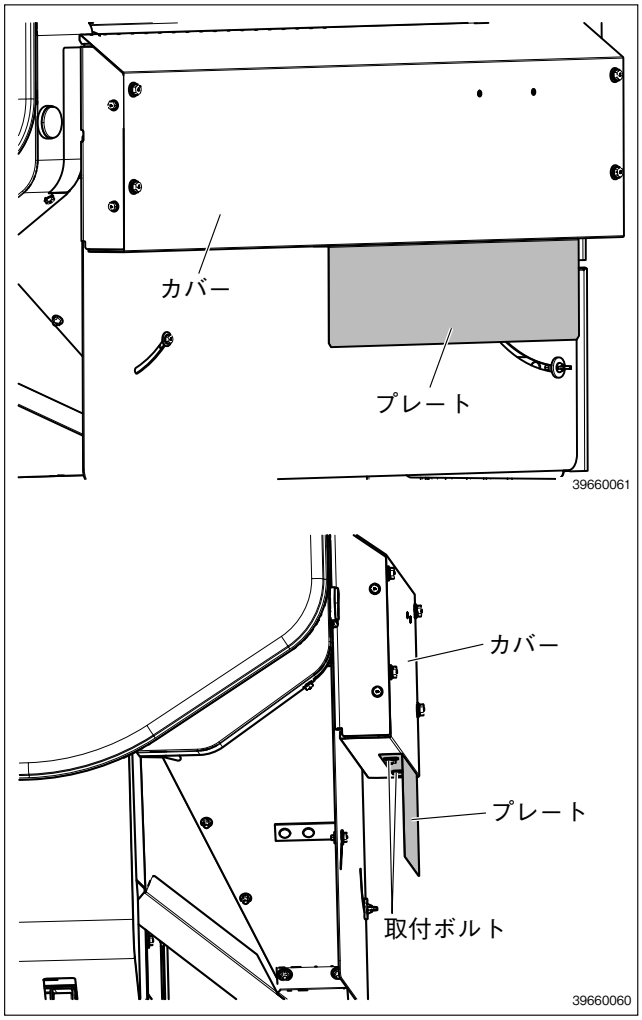
⚠警告 傷害事故防止のために

◆ドロッパを取付けるときは，機械を平坦な場所に置き駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し，各部の回転が止まってから行なってください。

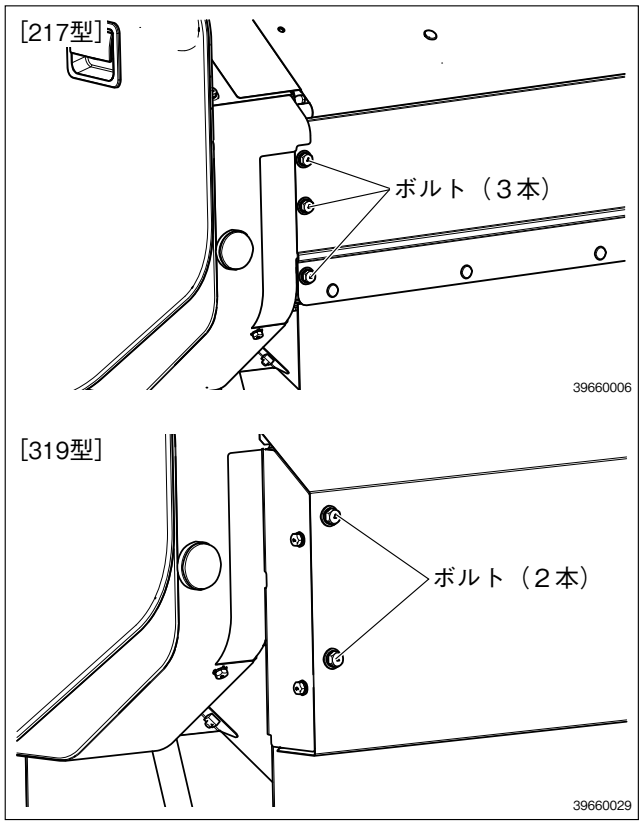
◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

1．ドロッパの取付けかた

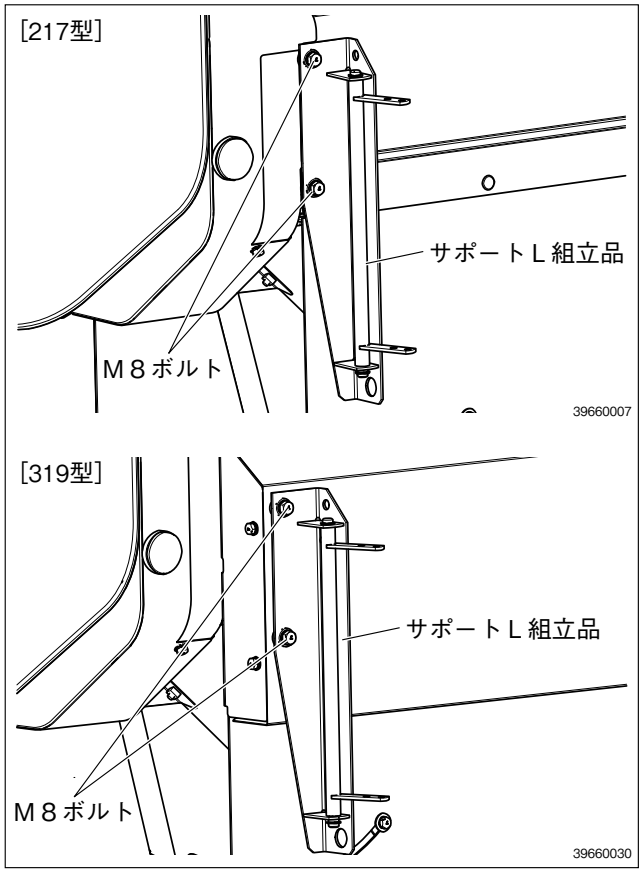
❶ カバー下部にプレート⑮をボルト（M６×16）２本で取付けます。（[319型のみ]）



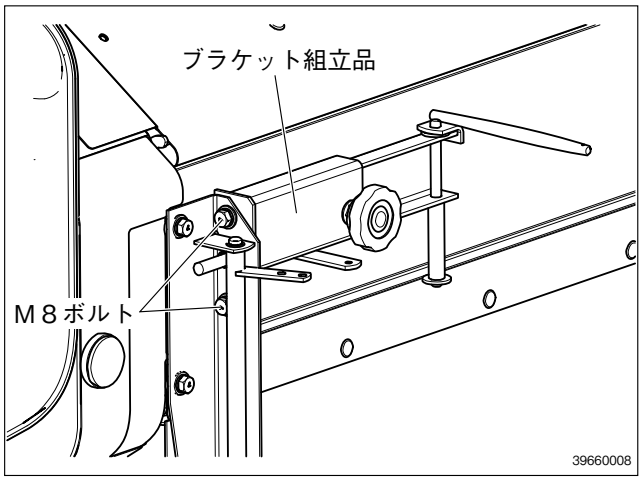
❷ カッタ左側後部のボルトを取外します。



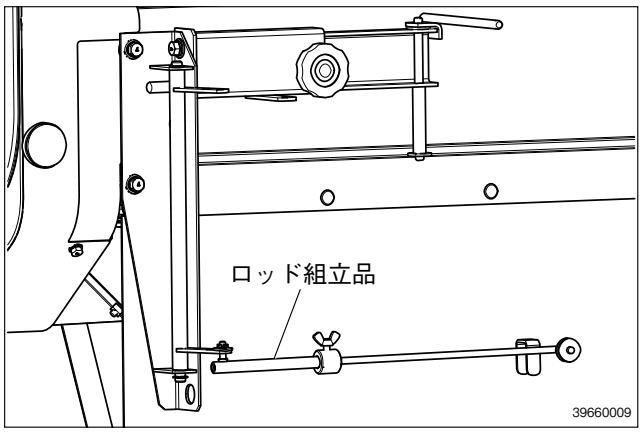
❸ サポートＬ組立品⑥を外したＭ８ボルト（２本）で取付けます。



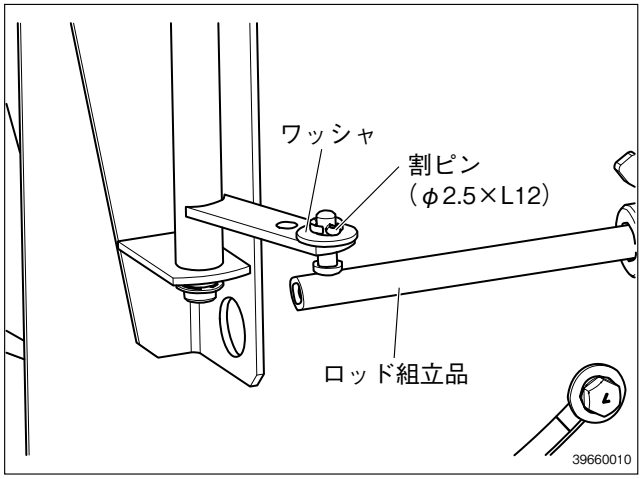
❹　サポートＬ組立品にブラケット組立品④を取付けます。（ワッシャ付ボルトＭ８×16を２個使用）



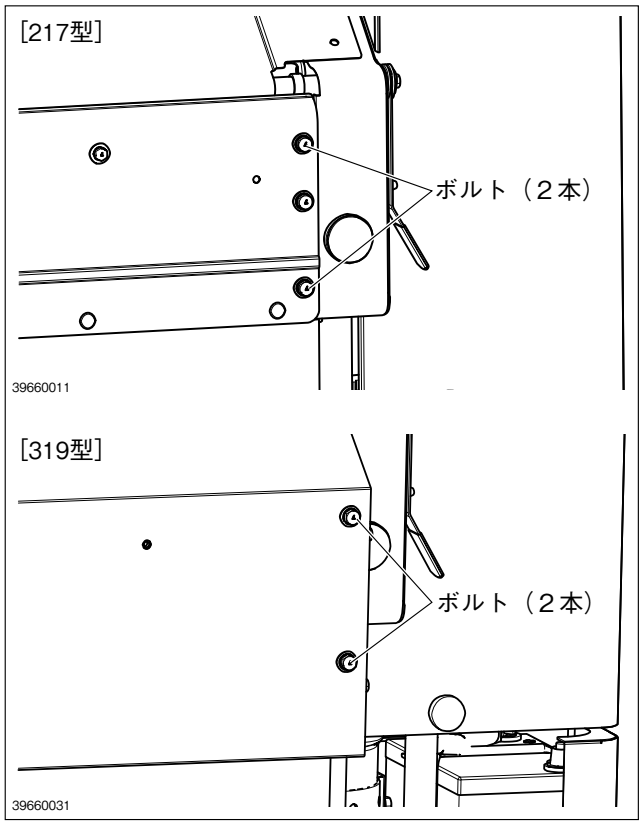
❺　サポートＬ組立品にロッド組立品⑤を取付けます。（ワッシャ，割ピン使用）



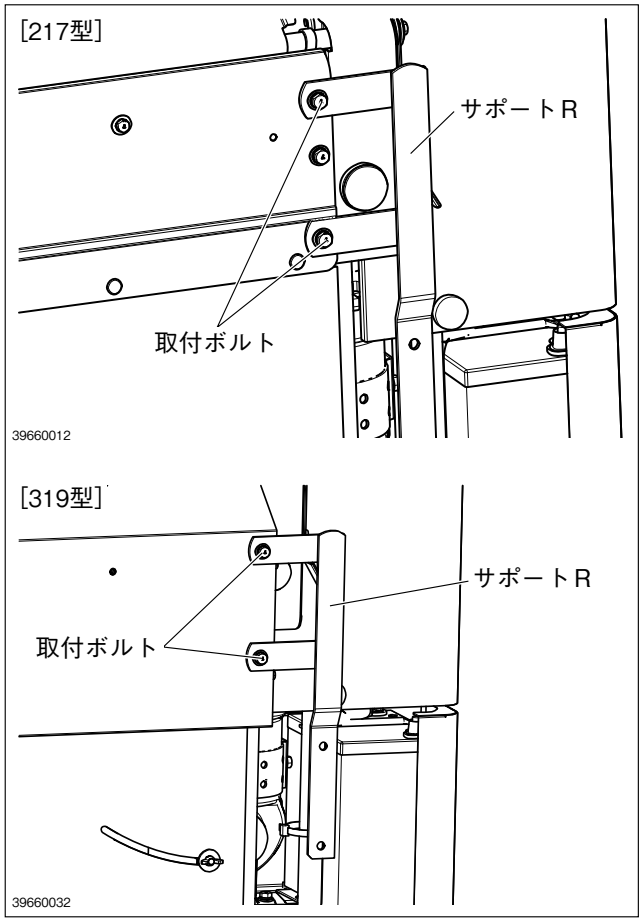
・ワッシャ，割ピンは下の写真のように組付け，割ピン（φ2.5×Ｌ12）を確実に割ります。



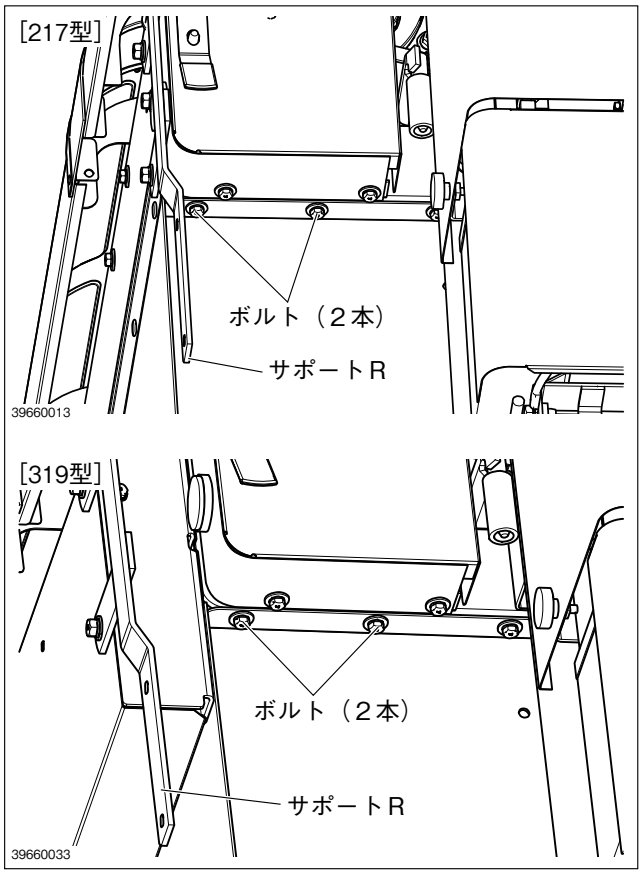
❻　カッタ右側のボルト２本を外します。
（中央のボルトは外しません。[217型]）



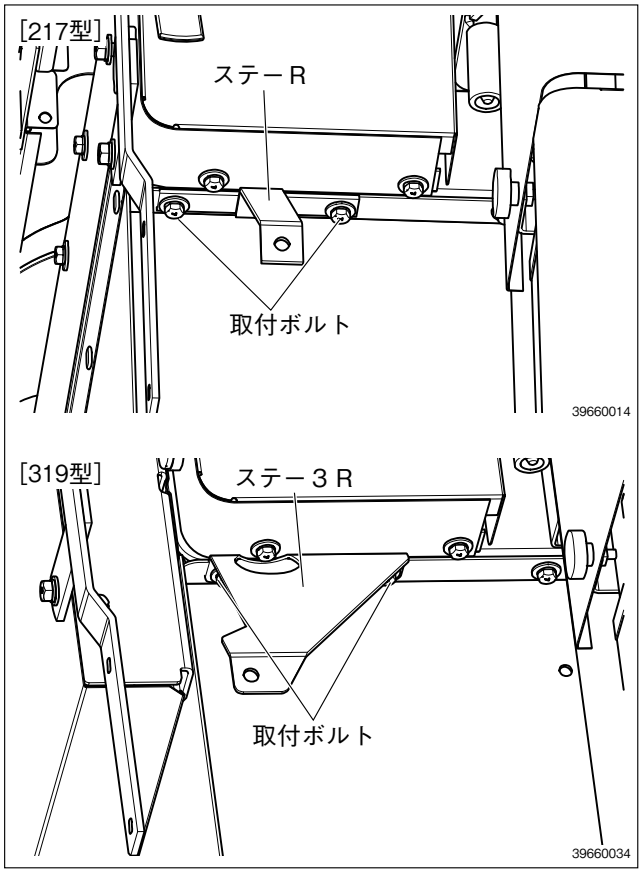
❼　サポートＲ⑨を❻で取外したボルトで取付けます。



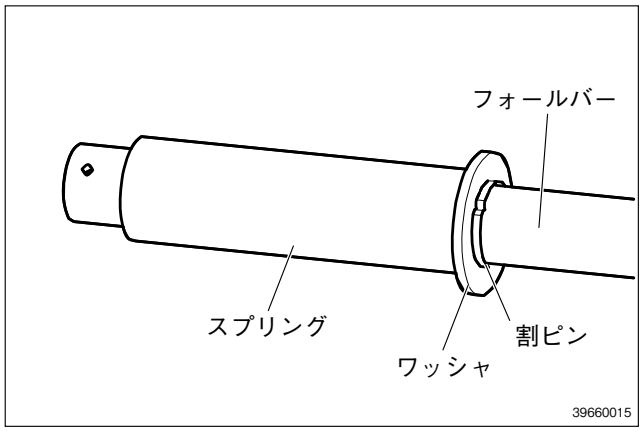
❽　カッタ下部カバーの右側取付ボルトの２本を外します。



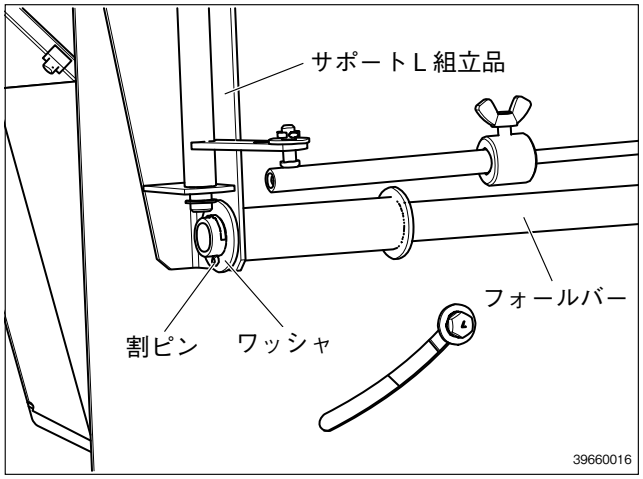
❾　ステーR⑩またはステー３R⑯を❽で取外したボルトで取付けます。



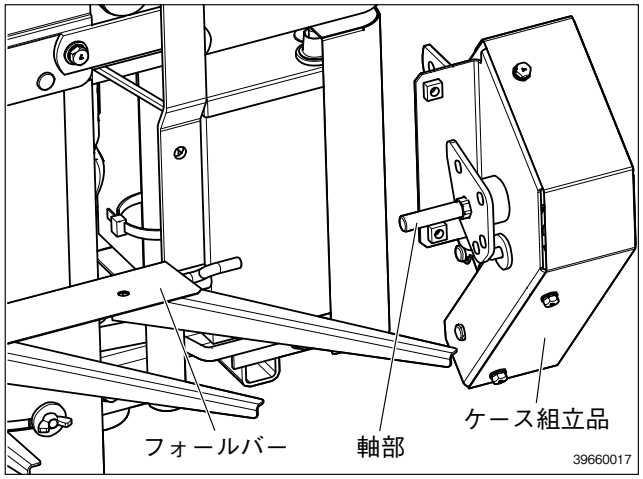
❿　フォールバー②に割ピン，ワッシャ，スプリングを組込みます。



⓫　サポートＬ組立品の下側の穴にフォールバー②を差し込みながらワッシャ，割ピンを入れ，確実に割ります。



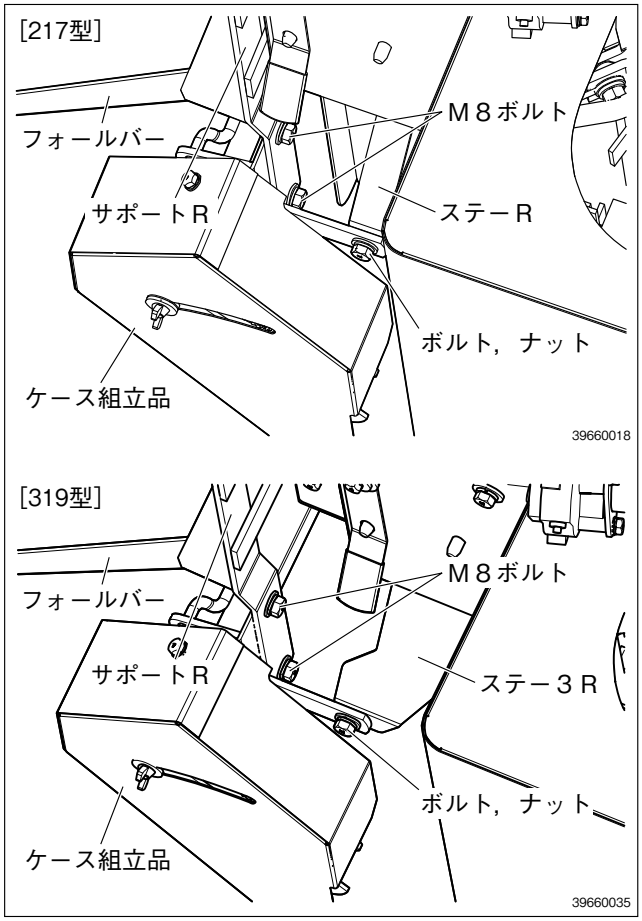
⓬　フォールバーの右端（パイプ部）にケース組立品①を挿入します。このとき，ケース組立品①の軸部にリチウムグリスを塗布します。



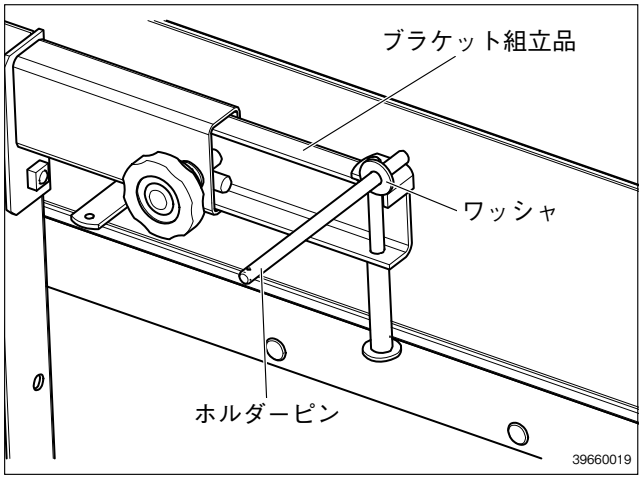
⓭　サポートRとケース組立品をＭ８ボルト２個で固定します。

⓮　ステーＲとケース組立品をＭ８ボルト，ナットで固定します。

⓯　この状態でフォールバーを上下させ，スムースに動作する事を確認します。フォールバーの動作が悪いときは，⓭，⓮で締め付けたボルトをゆるめて，適正な位置にして，再度締め付けます。

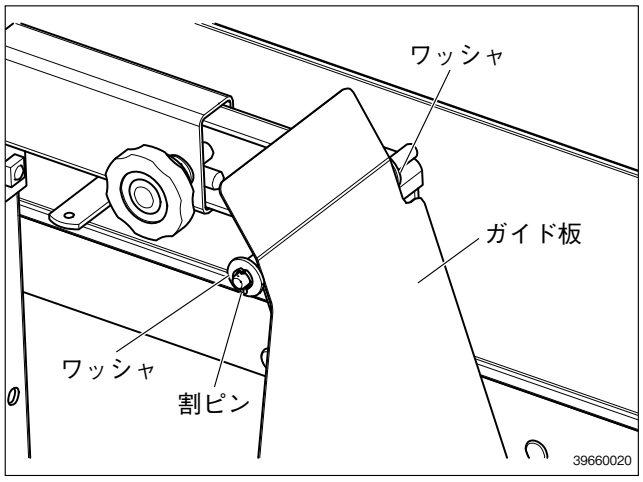


⓰　ブラケット組立品のホルダーピンを下の図の位置に動かして，ワッシャを入れます。

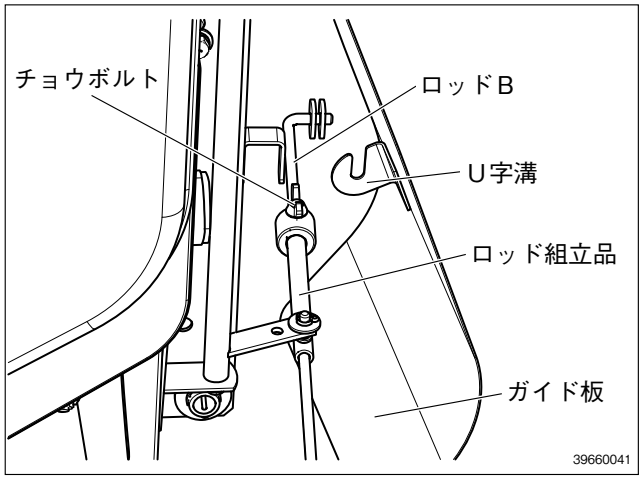


⓱　ホルダーピンにガイド板⑧とワッシャを入れます。

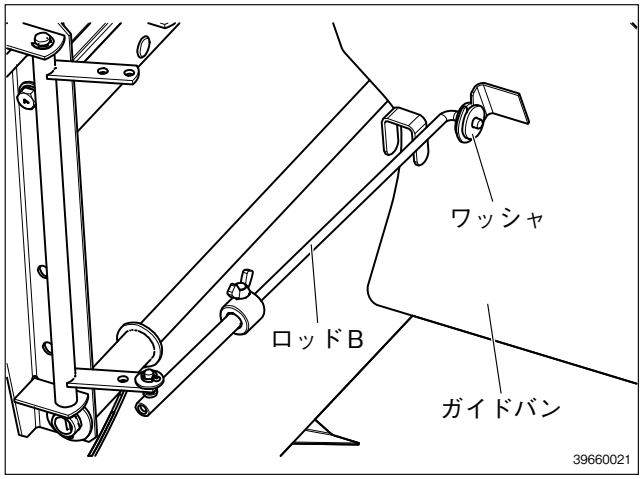
⓲　ホルダーピン端部の穴に割ピンを入れ確実に割ります。



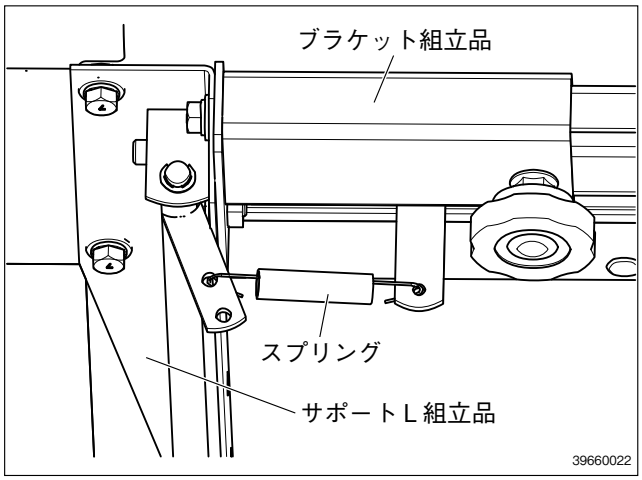
⓳　ロッド組立品のチョウボルトをゆるめてロッドＢを引き出します。ガイド板収納時はガイド板裏のＵ字溝にロッドＢを入れます。



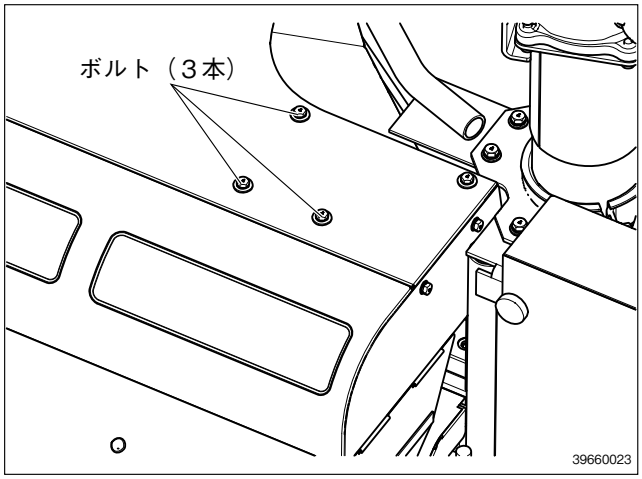
⓴　作業時はロッドＢの先端部（ワッシャ２枚付）をガイド板裏のＵ字溝部に入れます。



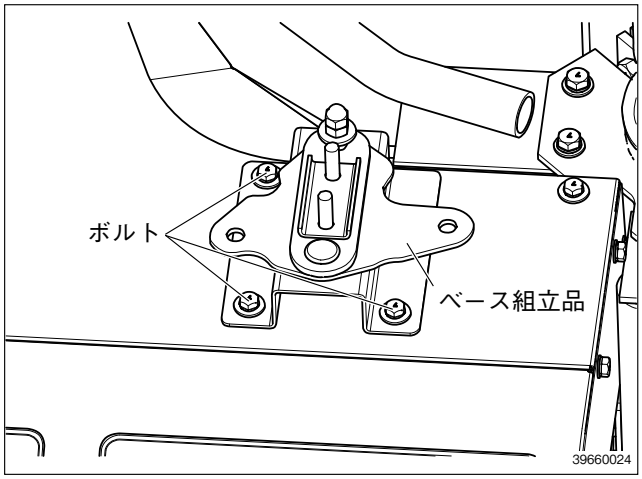
㉑ サポートＬ組立品とブラケット組立品の穴（下図の位置）にスプリングをかけます。



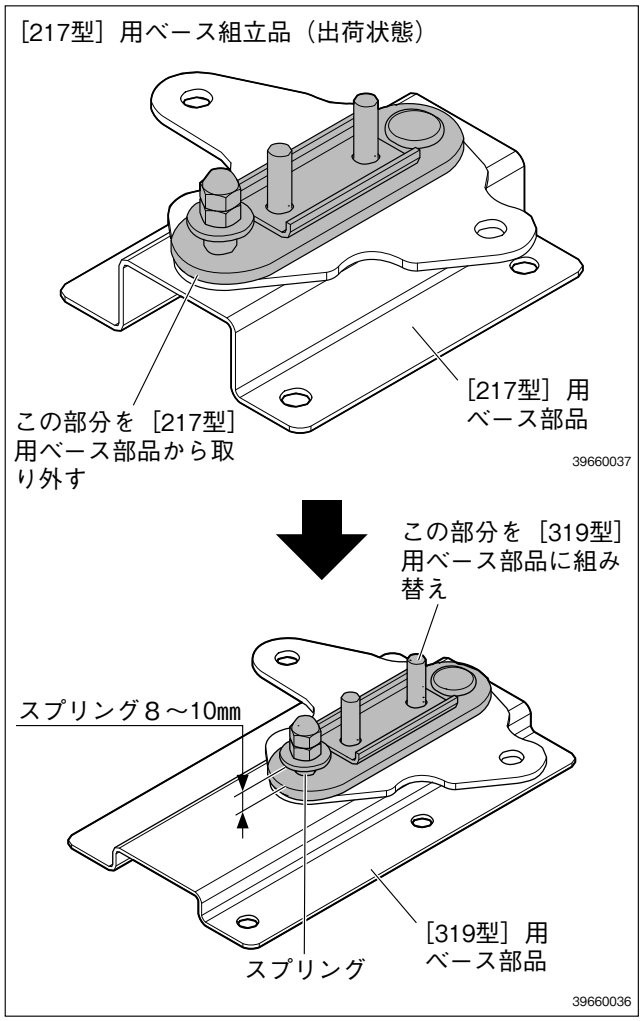
㉒ カッタ上部のベース取付部のボルト３本を取外します。



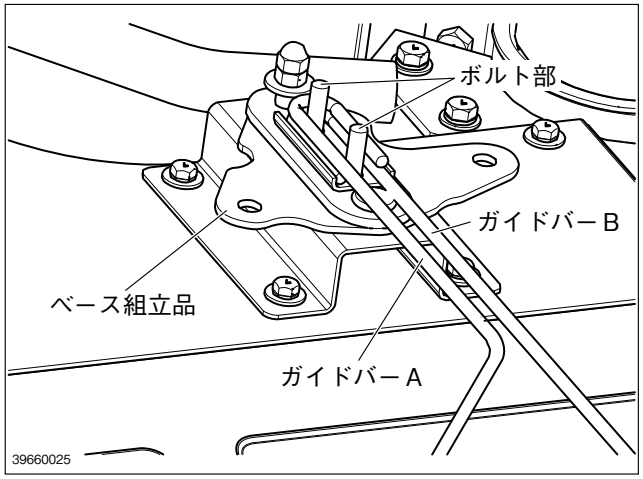
㉓ ベース組立品③を㉒で取外したボルトで固定します。（**[319型]** の場合，ベース部品の組み替えがあります。）



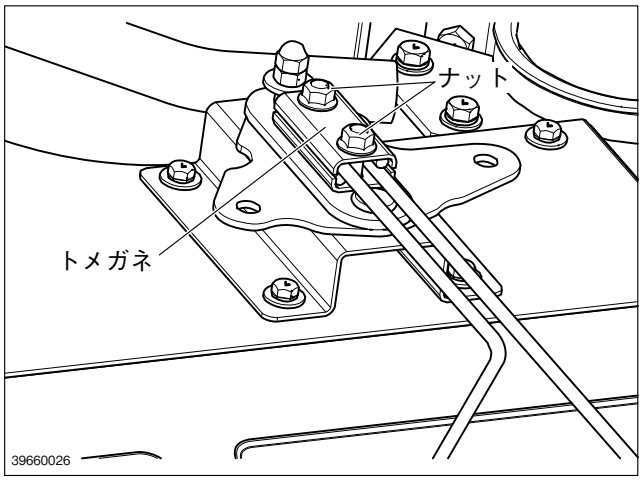
[319型] の場合，ベース組立品のベース部品を組み替えてください。



㉔ ベース組立品のボルト部にガイドバーＡ，Ｂを下の図のように重ねて配置します。



㉕　ボルト部にトメガネをはめ込み，ナットで固定します。



㉖　カッタをオープンします。(コンバインの取扱説明書の「**カッタオープンのしかた**」を参照します。)

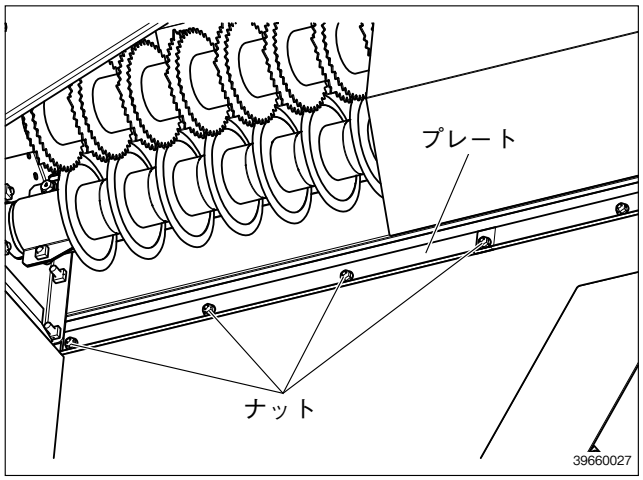
⚠警告　傷害事故防止のために

◆カッタをオープンするときは，機械を平坦な場所に置いて駐車ブレーキをかけ，エンジンを停止し，各部の動きが止まってから行なってください。

◆カッタをオープンして作業などをするときは，ストッパをかけ，(ロック）状態にしてください。
ストッパをロック状態にしないとカッタが回動して傷害事故を起こすことがあります。

◆カッタをオープンしたときはカッタ刃に触れないようにしてください。

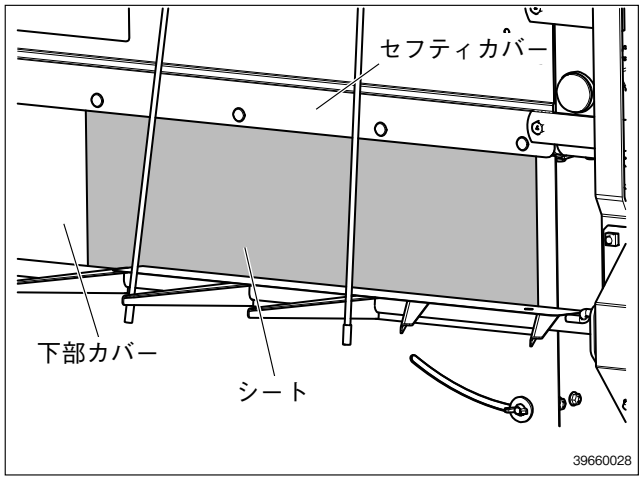
㉗　カッタ下部カバー取付ナット４個を取外し，プレートを外します。



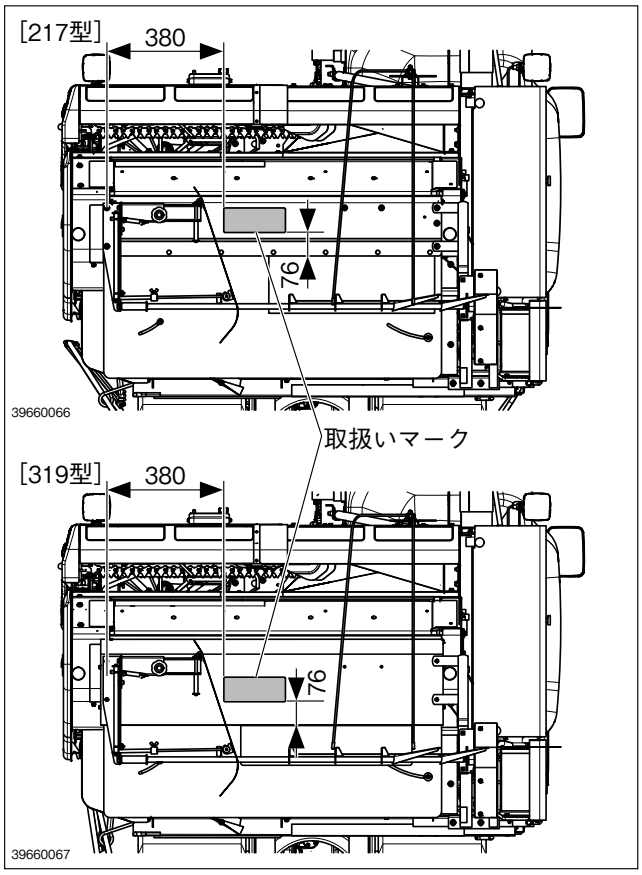
㉘　カッタのセフティカバーと下部カバーとのすきまにシートを通して，外側に出します。

㉙　シートの穴を下部カバーの取付ボルト部に入れてプレートを元通り取付け，ナットで固定します。

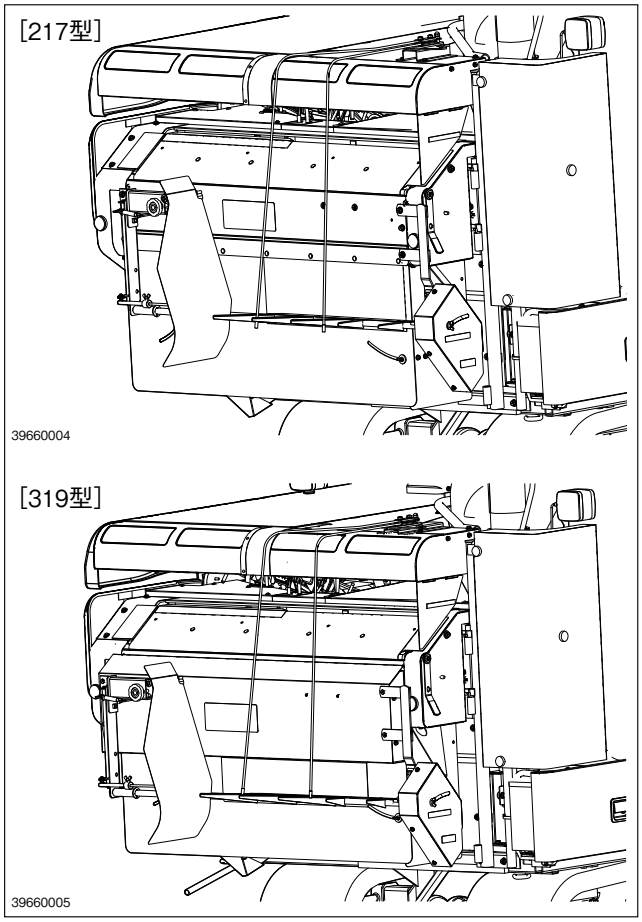
・シート取付状態



㉚ 最後に取扱マークを，カッタのセフティカバーの指示する位置に貼付けて完了です。



㉛ 組付完成図は下図のようになります。



2. ドロッパ装置の取外しかた

取外しは，取付けの逆手順で行います。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆ドロッパを取外すときはコンバインを平坦な場所に置き駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し，各部の回転が止まってから行なってください。

運転のしかた

1．運転まえの点検

点検項目

・点検は「**定期点検整備表**」を参考にコンバインと同時に作業前に欠かさず行なってください。
・異常や故障の原因がわからないときや修理しても再発するときは「**お買いあげ先**」に相談し点検を受けてください。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆点検および注油・調整するときはエンジンを停止し，各部の回転が止まってから駐車ブレーキをかけて行なってください。

⚠注意

◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

「**運転まえ点検表**」

No	場　　所	内　　容	処　　置	参照ページ
1	フォールバー	・油キレがありませんか。	注油する。（２箇所）	20

2．自動車への積込み・積降ろし

⚠警告 転倒事故や傷害事故防止のために

◆コンバインの自動車への積込み・積降ろしは，コンバインの取扱説明書を読んでから行なってください。

3．ほ場への出入り

⚠警告 転倒事故や傷害事故防止のために

◆ほ場への出入りのしかたおよびあぜ越えのしかたはコンバインの取扱説明書を読んでから行なってください。

作業のしかた

1．作業まえの準備

⚠警告 傷害事故防止のために

◆エンジンを始動するときは，補助者や周囲の人に合図をし各操作レバーが《N》(中立)または《切》であることを確認してください。

◆各部の点検，調整のときは，機械を平坦な場所に置いて駐車ブレーキをかけエンジンを停止して各部の動きが止まってから行なってください。

1．作物の条件

つぎの作物は，ドロッパ作業はできません。

・極度に倒伏した作物
・泥のついた作物
・ぬれている作物
・軟弱な作物および病害虫にかかった作物
・600㎜～1100㎜以外の稈長の作物

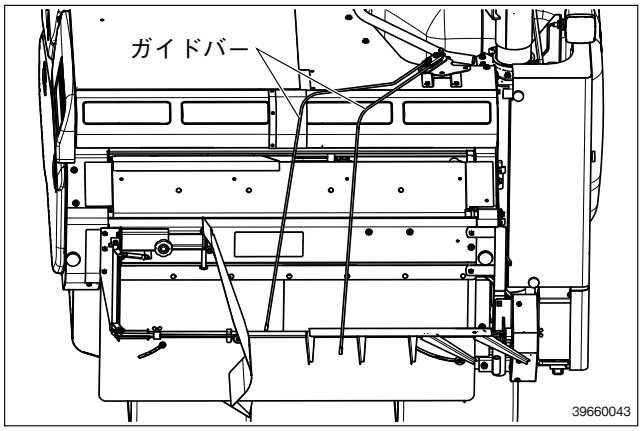
2．ドロッパ作業

・ドロッパ作業を行うときに，各部を調整して材料に合った形態で行なってください。

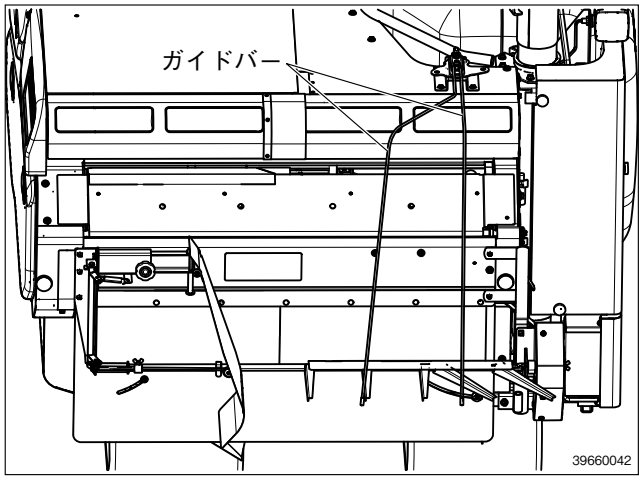
1．ガイドバーの調整

ガイドバーを持ち上げて，左右に回動すると３箇所の固定位置があります。

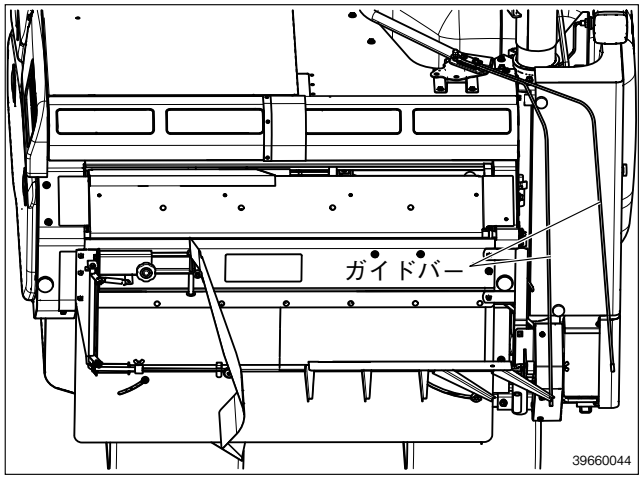
❶ 収納時



❷ 作業時



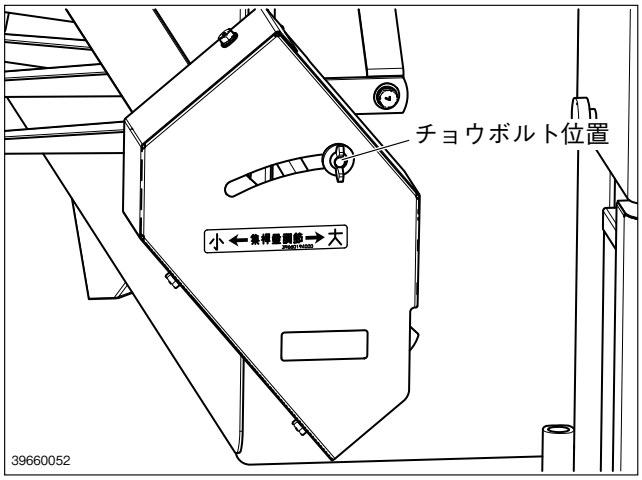
❸ カッタオープン時



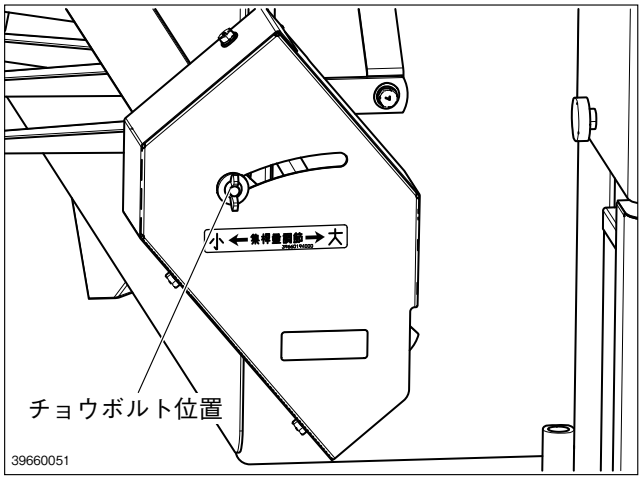
2. 集稈量の調整

・チョウボルトをゆるめて，長穴内をスライドさせます。

❶ 集稈量を多くする。



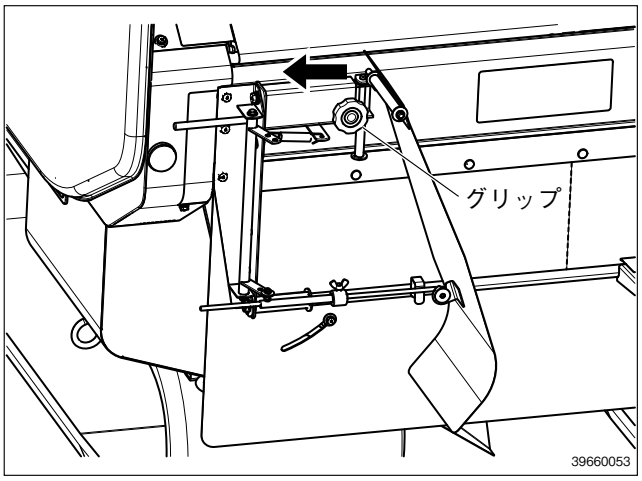
❷ 集稈量を少なくする。



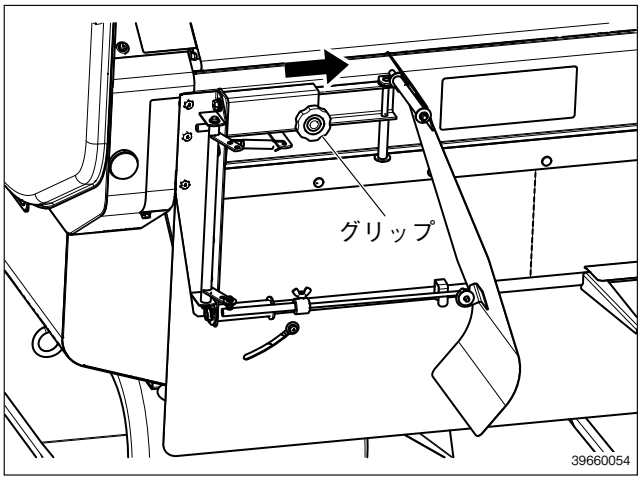
3. ガイド板の調整

・こぎ深さまたは稈長の短長により，ワラの株元位置が変わります。最適な位置にワラを落とすために，株元のガイド板位置を調整します。ガイド板は，グリップをゆるめてスライドさせます。

❶ 長稈または浅こぎ

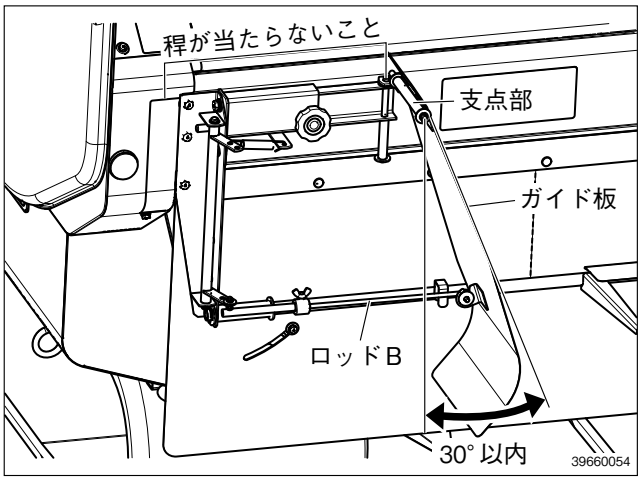


❷ 短稈または深こぎ



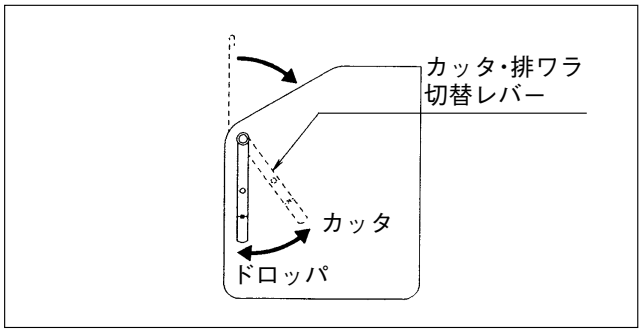
取扱いのポイント

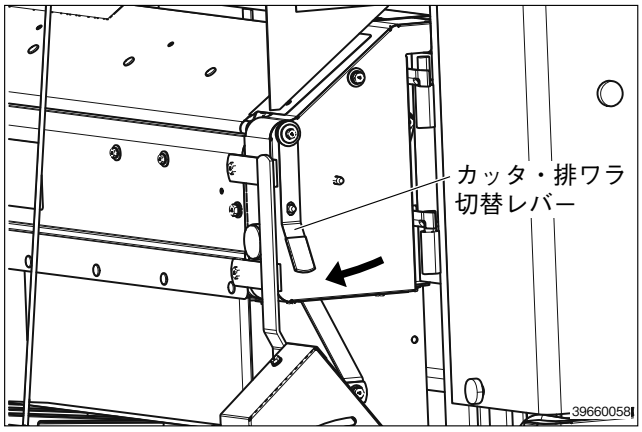
- ガイド板の支点部より左側に稈が当たらない様に位置を調整してください。
- ガイド板の傾斜が30°以内になる様にロッドBの長さを調整します。



4. カッタ・排ワラ切替レバー，排ワラレールの操作

❶ カッタ・排ワラ切替レバーを《**ドロッパ**》位置にします。

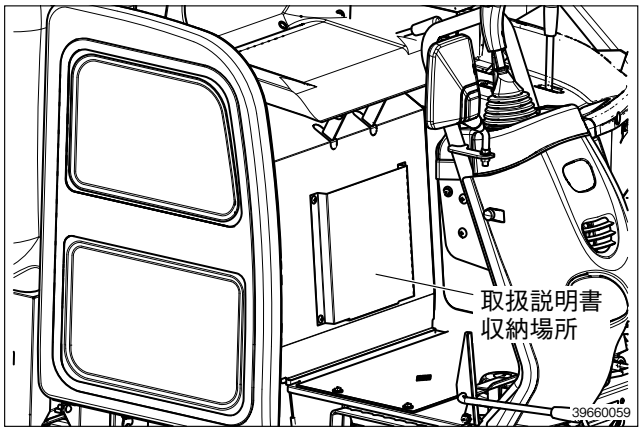




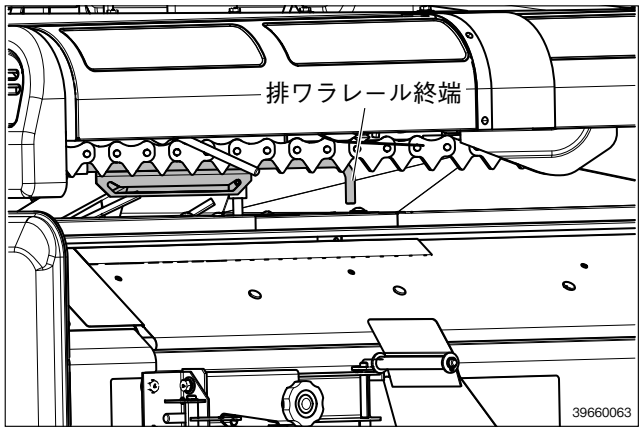
❷ 排ワラレール終端を当たりのあるところまでハンドルで引き出します。

・コンポアップをオープンしないで排ワラレールを引出すには，付属品のハンドルを使用します。

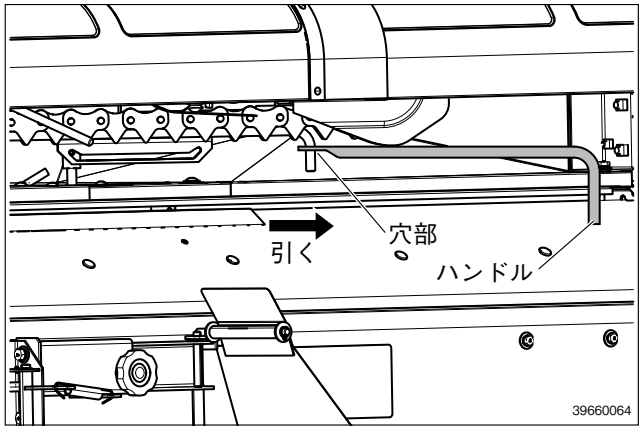
・付属品のハンドルは，取扱説明書収納場所に入れておくなど身近なところに保管しておいてください。



⑴ 排ワラレール終端にハンドルの穴部をはめ込みます。



⑵ ハンドルを手で引くことで排ワラレールを操作します。



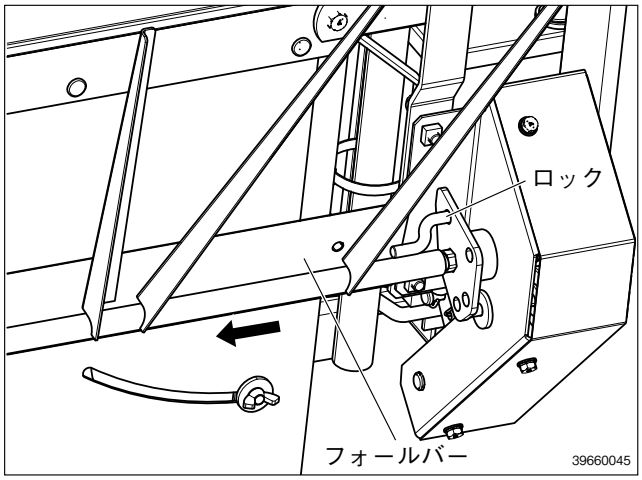
取扱いのポイント

- **カッタ・排ワラ切替レバー操作は搬送通路のワラを完全に排出してから行います。**
- **脱こく作業中の切替え操作はしないでください。詰まりの原因となります。**
- **脱こく部コンポアップ中は，カッタ・排ワラ切替レバーの操作が出来ません。無理に操作すると故障，破損の原因となります。**
- **コンポアップを閉じる前に排ワラレールをいっぱいに押し込んでください。**

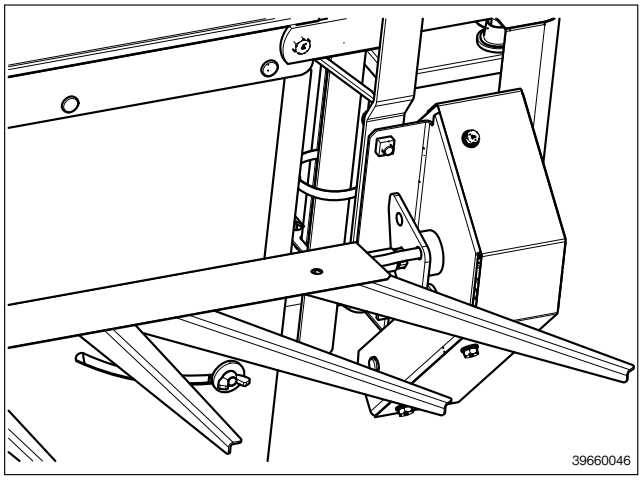
5．フォールバーの調節

・フォールバーを左側に押すとロックが外れ，上下に回動します。固定位置は次の３箇所です。

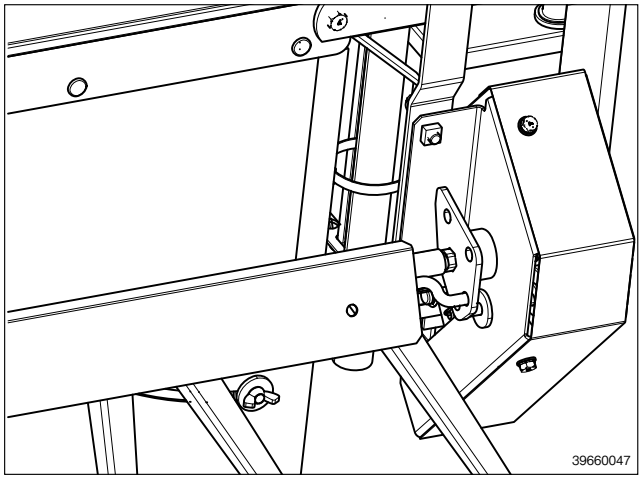
❶ 収納位置



❷ ドロッパ作業位置

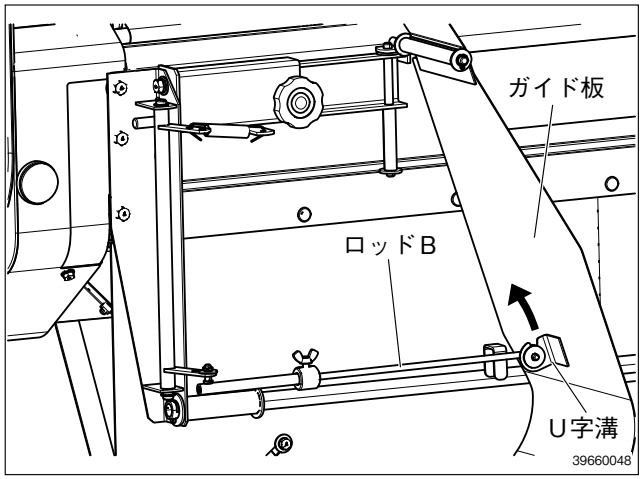


❸ バラ落し位置

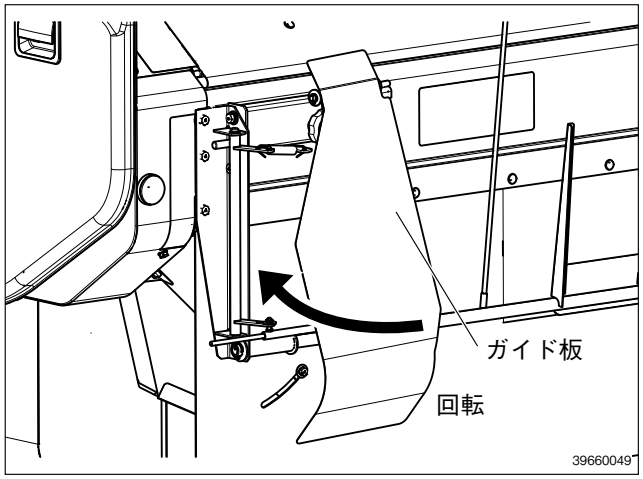


6．ガイド板の収納方法

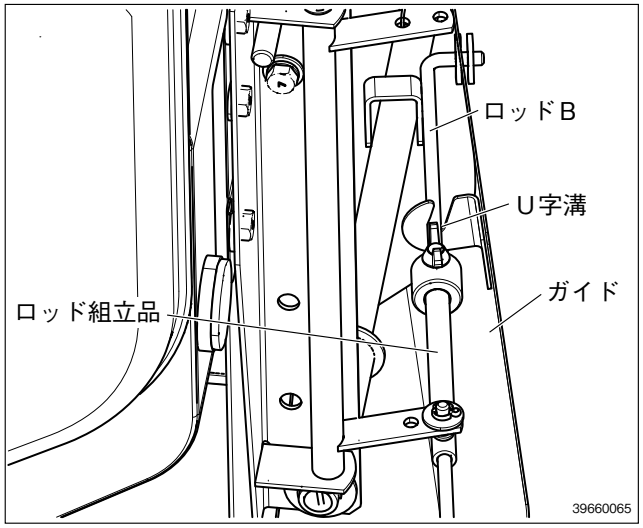
❶ ガイド板裏のU字溝からロッドBを外します。



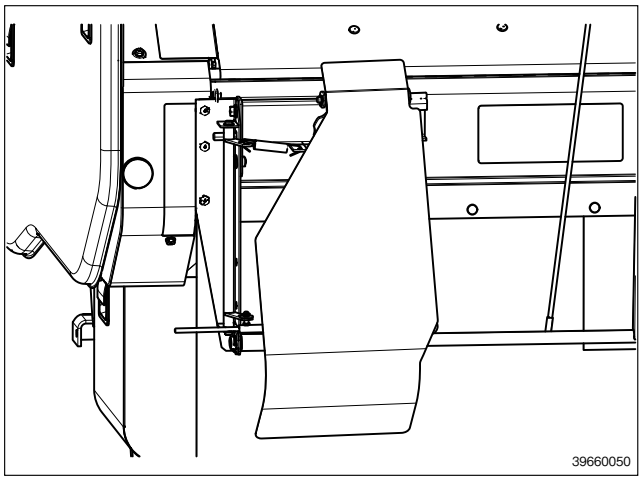
❷ ガイド板を持上げて90°回転させます。



❸ ガイド板のU字溝にロッドBをはめ込みます。

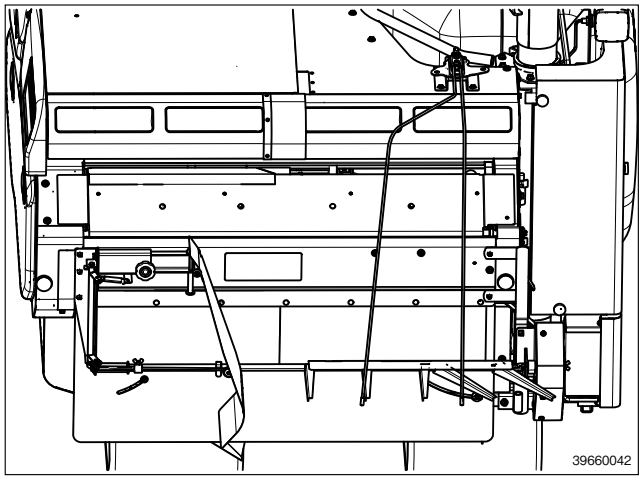


・ガイド板収納状態

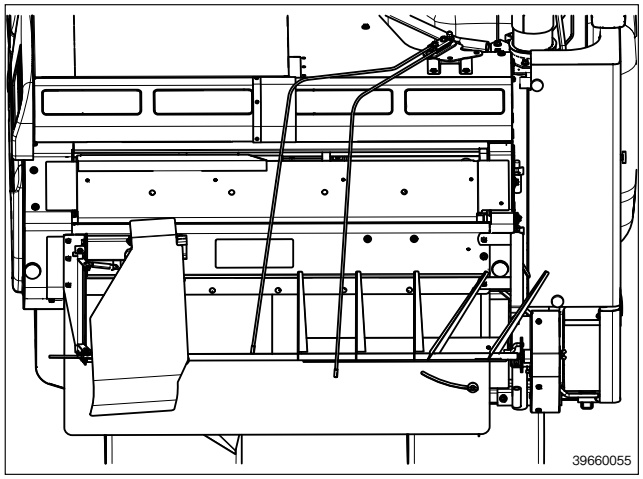


7. 全体の形態

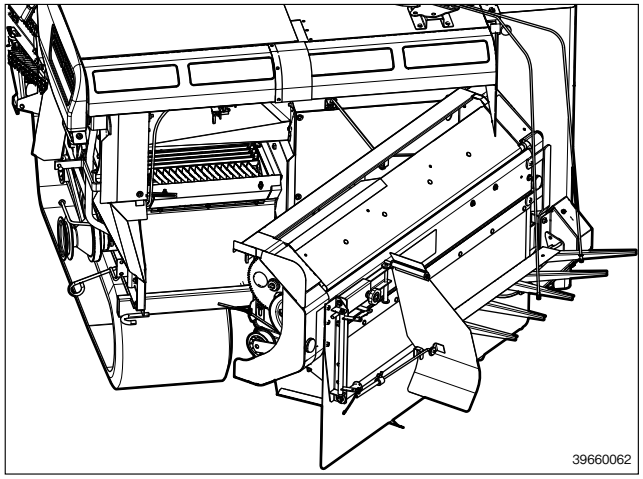
❶ 作業状態



❷ 収納状態



❸ カッタオープン状態



手入れのしかた

1．定期点検整備

・正常な機能を発揮し，いつでも安全な状態であるように**「定期点検整備表」**に従って定期的に点検し，必要により掃除・調整・整備を行います。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆点検・整備するときは，エンジンを停止し，駐車ブレーキをかけ，各部の回転が止まってから行なってください。

⚠注意

◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

「定期点検整備表」（○：点検調整，●：交換）

点　検　項　目	毎日作業前点検	シーズン前	50アール毎	格納時	整　備　内　容
フォールバーの油ギレ	○	○	○	○	フォールバー両端２箇所に注油する。

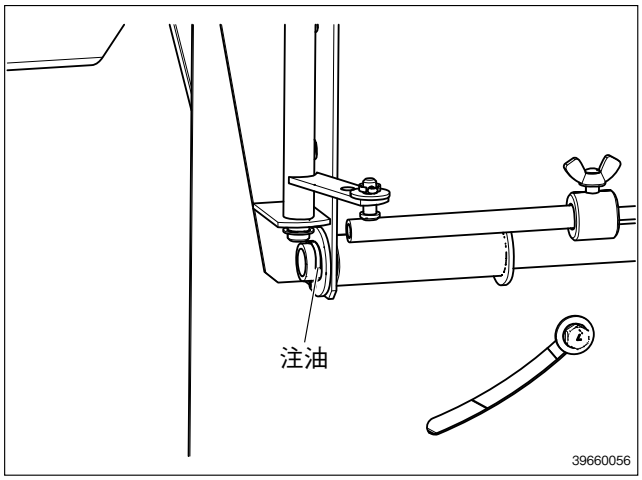
2．注油のしかた

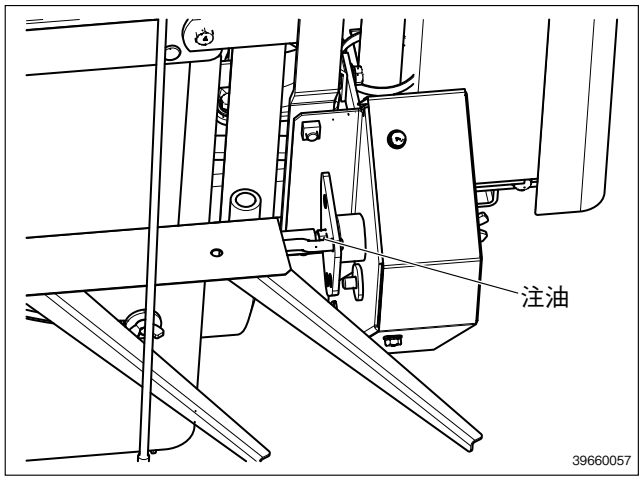
・フォールバーを動かしながら注油します。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆給油・注油・点検するときは，機械を平坦な所に置き，エンジンを停止し，各部の動きが止まってから行なってください。

場　　所	容　　量	種　　類
フォールバー両端	適　量	エンジンオイル





不調時の処置

・不調が発生したら，すぐにその原因を調べて処置をし，故障を大きくしないようにします。
・原因がわからない場合や，調整しても再発するときは「**お買いあげ先**」に相談し，点検サービスを受けてください。
・そのときは不調の状況とあわせて「**型式名**」・「**機械番号**」をお知らせください。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆作業中に不調が発生したときは，機械は広い平坦な場所に移動して停車し，エンジンを停止し，駐車ブレーキをかけ，各部の回転が止まってから行います。

⚠注意

◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動し作業に入ります。

不調の状況	原　　因（点検箇所）	処　　置
1．フォールバーの動きが悪い。(集稈量「小」位置でスムーズに復元しない。)	・フォールバー回動支点部の油ギレ。	・フォールバー両端に注油する。
	・サポートＬ組立品とケース組立品の位置がずれている。	・取付ボルトをゆるめて再調整する。
	・フォールバー回動支点部（パイプ）変形している。	・「**お買い上げ先**」でフォールバーの修理，交換を行う。
2．集稈の切れが悪い。	・作業速度が速い。	・作業速度を下げる。
	・集稈量が少ない。	・集稈量調整を「**大**」側に動かす。
3．排ワラが斜めに落下する。	・株元がガイド板に当たりすぎている。	・ガイド板を左側に動かし，株元が強く当たらない位置にする。 ・こぎ深さを適正位置にする。

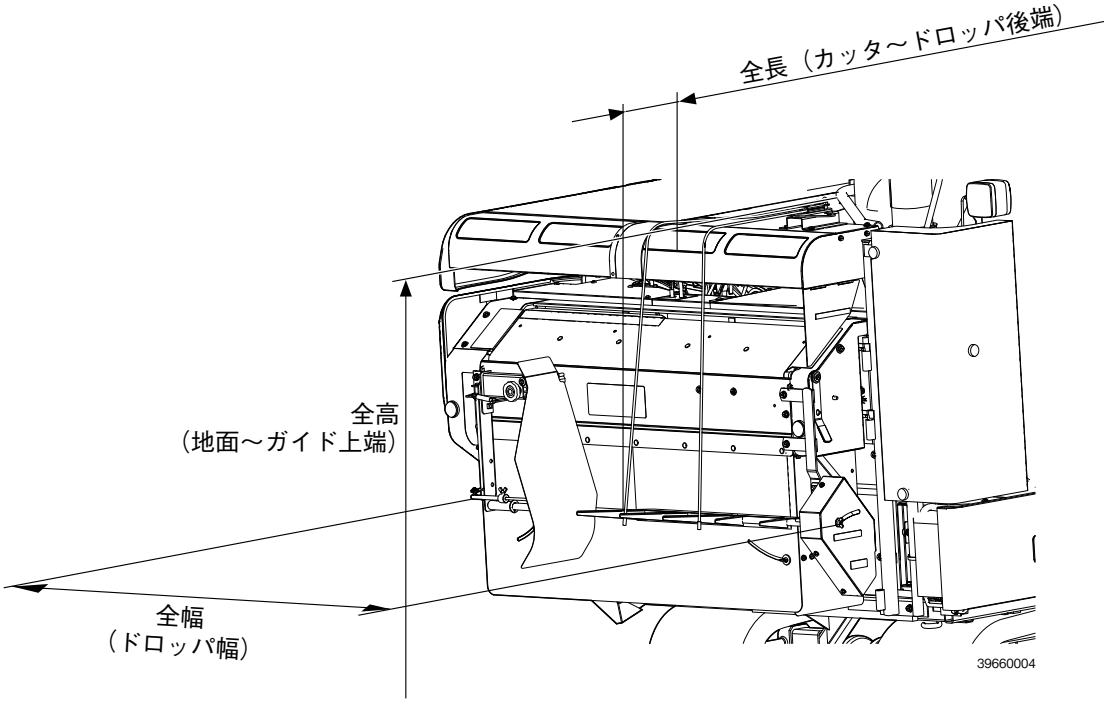
取扱いのポイント

●**作業速度「最高」での「集稈量少」は，集稈の切れ不良となりますので，「集稈量少」にしないでください。**
●**作物の条件が15ページの** 1．作物の条件 **で指定した状態であれば，ドロッパ作業はできません。**

付　　表

1．主要諸元

名　　称		カッタドロッパ
型　式　名		S－M319D
機体寸法	全長 mm（　）は格納寸法	285(175)〈機体後方より〉
	全幅 mm	1295
	全高 mm	1450
重　量 kg		12.0
能　率		本機に準ずる
適応草丈 mm		550～1100
落下位置移動方式		寄せ板方式
落下方式		重量感知方式



2. 用語解説

取扱説明書に使用している用語の意味は次の通りです。

ア行

アタッチメント……コンバイン購入後に取付ける装置です。

カ行

カッタ……コンバイン後部のワラを切断する装置です。

カッタ・排ワラ切替レバー……排ワラの送り先をカッタ，またはドロッパに切替ることができます。

稈……ワラのことです。

タ行

ドロッパ……排ワラを一定量集めて，排出する装置です。

ナ行

ノッタ……ワラの結束機です。

お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは，下記の点を明確にして，お買いあげ先へお問合わせください。

●ご使用機のコンバイン型式名と機械番号（製造番号）およびドロッパの型式名と機械番号（製造番号）は…？

型　式　名	⑴コンバイン	⑵ドロッパ
機械番号（製造番号）	⑴コンバイン	⑵ドロッパ

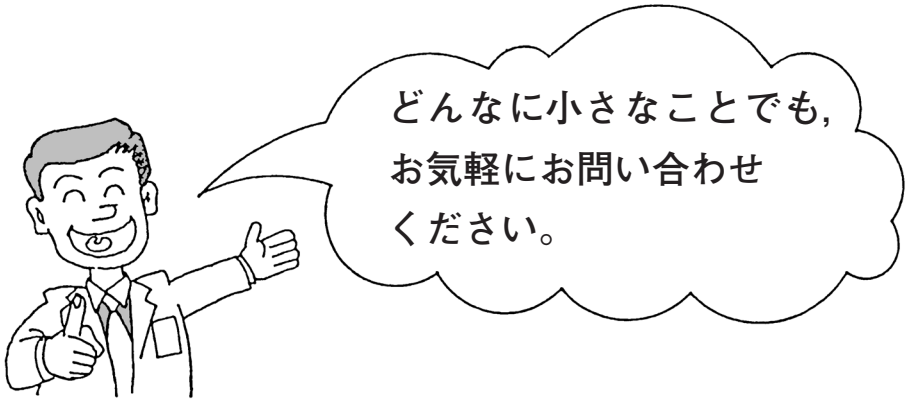
●ご使用状況は…？

（何速で，どんな作業のとき）

●どのくらい使用されましたか？

（約 _____ アール使用後）

●トラブルが発生したときの状況を，できるだけ詳しくお教えください。



（ご相談窓口）お買いあげ先

ＴＥＬ　　（　　）

No.011311-39660192000